

8月に、マツダ(株)構内にある地下タンクの清掃と点検をさせていただきました。その評価を伺うため、この度マツダエース株式会社を訪問し、林事業部長様と面談しました。

林様は、ちょうど安全パトロールの途中で私共の作業を見ておられたのです。「山陰興業さんは責任者の管理の下、作業が整然と行われており、一目見て安全で品質の良い業者様だと感じました。また、作業場にタープを張って、暑さ対策をしており、従業員を大切にしている会社だと感心しました。」・・・と。

また繰り返し仕事が頂けるわけ、それは、「品質」であると、きっぱり言っていました。皆様の意見をまとめると・・・

- ・作業現場が整然としており、安心できる。(5Sは安全の基本)
- ・工程計画と管理がきちんとできており、工程通りに作業が進んでいる。(工程管理表により、作業の進捗状況が一目でわかる。決められた工期で受注した工事を完工するため、現場責任者と作業員が工程を良く理解し、無駄な動きなく効率よい作業を行っている。)
- ・作業着が綺麗。(作業着が汚れないと言うことは、作業工程、手順を理解し作業がおこなわれ、5Sの実施が行われている証です。)

ということでした。

上記コメントのように、とても良い評価をいただき、大変うれしく感じました。年々厳しくなる安全と工事の品質に、当社が応えているのは素晴らしいと思います。今まで先輩達が築いてこられたマツダエース株式会社様との信頼関係がますます固くなってきていると感じました。(長野)

編集後記

アメリカでもホテル業界は不況で、いろいろな経営努力がなされているようだ。フロリダのリゾートホテルでは、使用後のシャンプー、リンス、石けんを廃棄するのではなく、リサイクルしている。それらは非営利団体が集め、貧しい国へ寄付されるのだ。(廃棄するよりリサイクルの方がコストがかかるらしいが...) 廃棄コスト削減とイメージアップというユニークな取り組みに注目が集まっている。先進国で廃棄されるものが、貧しい国で役立つことはすばらしいことだ。今後、このような取り組みが日本でも広がるといい。

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

社長が薦める今月の一冊

『出雲國風土記』

加藤義成 校正 松江今井書店発売



先月引用した出雲國風土記を、もう一度登場させます。

「出雲大川(斐伊川)。源は、伯耆と出雲の界なる鳥上山(船通山)より流れ出で、木次・斐伊・神原の郷を経へ、出雲・杵築を経て、神門水海(神西湖)に入る、河の周りは土地豊かに肥えて、穀物・桑・麻など実りたわわになり、百姓(たみ)はうるおっている。

河には、鮎・鮭・ます・うぐい・うなぎなどが、淵に並んで泳いでいる。河口から、河上の横田村に至るまで、五つの郡の百姓は、こぞってこの河の恵みを受けている。(山根抄記)」

前回の朝酌の渡りの記述と一緒に、よくよく読んでみると、いかに昔の人が、豊かな自然を敬い、その恵を頂いて、心豊かに暮らしていたかが判ります。

私たちの過去の営みが歴史となって、私たちの未来をつくっていきます。古いものに学び、価値を見いだすことが、私たちの未来をさらに価値高いものにします。

(山根)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、新米5kgです。締切は10月末です。奮ってご応募ください。

Q: 右の写真は、何でしょう?



先月号の答えは「栗」でした。抽選の結果、三次市益田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp



2010
9月
Vol.208



OBも支えてくれる山陰興業



藤江(正)様：山根社長(当時は専務)と遠心分離器を回したものだ。



藤村様：昭和51年1月より約10年勤務。新年恒例の大社参拝があり、年頭の挨拶で、山根社長(当時は専務)挨拶の前に「夕刈りを増やしましょう」等々しゃべりすぎ、社長に叱られたことも。



田中様：工事に所属し、長崎や福岡、広島等へタンク清掃でいったものだ。



福島社員：今年4月から、シニアマネージャーとして活躍中。平成9年から油水分離槽の清掃をおこなっているが、今は後輩の育成指導を行っている。



土屋様：松江営業所が玉造にあったころ、山根社長(当時は専務)に寒い季節に粕汁をよく作っていただいた。



『感動宣言』
お客様や社員、さらには地域社会の感動話を掲載してまいります。
弊社とお客様との間に生まれた「ちょっといい話」や「ふんえん」のような感動話をお届けしていきます。と思っています。

8月28日、第1回山陰興業OB会が開催され、わが社の基礎をつくっていただいた先輩たちに集まっていた。

「まめだったかね・・・」「久しぶりだね」一目目を合わせると、当時の思い出がよみがえる。力合わせて、今のお客様の基盤を築いた仲間たちだ。

わが社は今期38期を迎えている。今日に至るまでの感謝の気持ちをもって、わが社を立ち上げた先輩たちを迎えた。

社長も心待ちにしていたのだ。38期を迎えられたのも先輩たちのおかげだ。

先輩たちから、励ましの言葉をいただいた。今後、山陰興業の風土を守っていくとともに、先輩達の仕事に対する強い思いを継承していかなければならない。

山陰興業を卒業していった方々も、後輩達の活躍を応援してくれる。そんな企業風土に感動を覚えたのだ。

(長野)

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。

お客様訪問

株式会社ペトロ米子店 様

〒689-3541

鳥取県米子市二本木1037-1

TEL 0859-37-0066

FAX 0859-27-7166



城家社長様



日本一安い中古車店チェーンを目指す

山陰地方は、軽自動車の保有比率が高く、一大需要地となっている。そのような市場を狙って米子に出店したのが平成21年5月のこと。当初は軽の未使用車専門店のうたいで、新車との価格差を前面に訴求したビジネスモデルで展開したが、たまたま新車の補助金制度が始まり全く売れず、やがて手ごろな価格帯の中古車中心に切替えた後は売上が回復し、現在の様なスタイルに発展した。

ペトロの車は安心の約束がある。それは、「全車安全の保証付き」なのである。もちろん、事故車は販売しない。

また、売りたい車があればペトロに持ち込むと、ある程度の期間、店頭展示し、買取よりも高く販売してもらえる（販売委託制度）。さらに、自分の本当に欲しい車を全国ネットで安く探せるオークション代行制度など、展開中である。

城家社長は、大学卒業後トヨタディーラーで10年営業、ホンダディーラーで10年経理・総務、その他広告代理店で制作ディレクター・マーケッターという幅広い経験を持つ。「以前は仕入れた車を並べて商売していた中古車業。しかし昨今の不景気とネットの発達でユーザーの要求するハードルが高くなり、業界は明らかに生存競争時代に突入している。知恵と工夫は不可欠。」と語る。

？のペトロ

反面、話好きでそれが高じて、米子ミニコミFMで声の出演をする予定。毎週15分、社長のおしゃべりが聞ける。「せっかく、関西からきているのでおもしろくやりたい」と意欲満々。来店されたお客様とも車談義で話が盛り上がる。

「将来は、ここを本部とみた、のれん分けした店をつかって、発展させていきたい。現に今夏、ペトロ出雲店を出店した。もちろん、経営したい人には徹底して指導していく。米子発のビジネスモデルを作るのが夢だ。」と、熱い思いを語っていた。

車を買いたい人も売りたい人も是非いつてみてほしい。お目当ての車がみつかるかもしれません。（長野）



車のトランクを上げ、にぎやかさを演出。夕方にはハザードランプを点灯させたりしている



？の看板が目印!!

営業時間：
9時～19時30分
年中無休

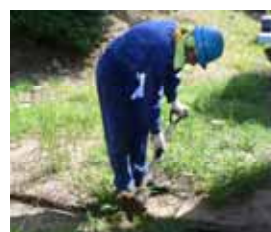


一斉清掃の実施

連日猛暑日が続いている。朝から気温が高く、汗だくになり、汗が目に入ると痛いくらいだ。

先日の大雨で作業倉庫裏のU字溝に土砂が多量に流入し、埋まってしまった。一斉清掃を機に取り除いた。

構内は、時々、河上部長や伊達山社員が草刈を行っており、比較的草が少ない。休憩をとりながら、構内清掃をおこなった。だんだんときれいになっていく



のが実感できるのである。

（長野）



危険物保安功労者表彰を受ける

8月17日、くにびきメッセに於いて、島根県危険物保安協会連合会設立50周年記念式典が開催され、平成22年度危険物保安関係功労者定例表彰に横地社員が選出された。

横地社員は入社以来、廃油収集係として、毎日、危険物作業に従事している。彼から、喜びのコメントをもらった。（長野）

「廃油収集において、油をこぼさない、作業前より作業後をきれいにする、という気持ちで毎日作業してきた。作業現場が海や川に近いととても気を遣う。

毎日、きれいな車でお客様のところへいくよう、まめに洗車も行っている。お客様とは、顔を合わせたら、「まいどー」と言ってもらえるような関係になるよう、努力している。

危険物を扱っているという意識を常にもって、明るく笑顔で、お客様に接することができるよう、心掛けています。このたびはありがとうございます。」（横地）



『告白』を読んで

湊かなえ著 扶桑社

昨年の本屋大賞を受賞した作品を読みました。正直なところ、読んだ後のもやもやとした気持ちや、人間の本性を見たような気がして、怖かったです。本の中で起きている事件が、もしかすると現実社会で起こっているかもしれないと思えてしまった事が怖かったです。

自分が主人公と同じ立場に立たされた時、同じ様な行動をしてしまい、善や悪も分からなくなってしまうかもしれないと感じ、なるほど、本屋大賞になるべくしてなった作品だと思いました。

小説なので、為にならない本かもしれませんが、会社の図書として追加されれば、ぜひとも皆さんに読んでもらいたいと感じました。本を読むことが嫌いな私もハマってしまった作品でした。（榎並）

元気の出る言葉

中村天風師

笑顔は、万言にまさる
インターナショナル・サインだよ

（君に成功を贈るより、日本経営合理化協会刊）

中国へ行つたときに、通訳の女性がいつでもニコニコしていたので、こちらもつられて笑顔になった。そうすると、お互いにとってもいい雰囲気になって会話も進んだ。さらにお礼のメールまでいただいた。なんだかとてもいい気分だ。まさに笑顔はインターナショナル・サインだと実感した。（長野）



「ツリフネソウ」花が、帆掛け船をとり下げたような形になっています。





鋭い感性と子供のような好奇心を持つ

・周りからお客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

26日O社さまからの監査を、安原常務ほか4名で対応しました。

O社さまとは、産廃物の処理のほか、再生油の取引をいただいています。対応した5名は、今までの受け身の姿勢ではなく、この会社のホームページから「企業行動報告書」をまず読み、特に環境問題へ取り組みを理解する。その上で、このお客さまは私たちに何を望んでおられるのか？ 私たちは何をすればもっと喜んでいただけるのか？ など積極的に聴き出すことを始めました。

企業行動報告書及び担当者様から学んだことは、

1. 全社的に、リサイクル・地球温暖化対策を積極的に推進されている。
2. 私たちに委託されている廃棄物が遵法に処理されているか、排出事業者として厳密に確認された。事前の調査が行き届いている。
3. 新エネルギーボイラーを導入し、脱化石エネルギー（特にC重油）を進め、廃棄物エネルギーは上昇している。
4. 再生油は、再生可能エネルギー及び低硫黄燃料と

の認識があることを感じる。ただし、再生油は09年度報告書には記載されていない。

そこで私たちは、

1. 監査を受ける側として、さらに書類の整備、現場の5Sを徹底する。社員は監査を実施される側よりも、廃棄物、法律に関する知識、社会の変化を細かく勉強する。まず社員の対応が、第一印象を決める。

2. 再生油には硫黄分が、C重油の約6分の1しかない。O社様にはリサイクル燃料として、「公害賦課金の低減」「CO2排出カウントから一部除外」し、もっと有効に活用して欲しい。

その上で私たちは、再生油がC重油より低く評価されている今の価格体系から離れ、独自の新しい価値づくりに挑戦して欲しい。

このお客さま情報から、時代の変化を敏感に読み取り、すばやく対応する感性と柔軟な心、そして子供が新しいことに向かうときに持つ、ワクワクした好奇心で挑戦し、再生油に新しい価値を築くのです。

私はこう考え、こう実行します

【安原】

再生油が環境に与える影響を数値化して、その価値を見える化する

【松下】

再生油の価値を認めて頂けるお客さまを開拓する

【岸本】

お客さまからの情報を敏感にとらえ、すばやく対応する

【福岡】

現場の5S活動を徹底し、お客さまへ当社のサービスをもっと知って頂く

【福島】

5Sを念頭に、気づいたら即実行

【吾郷】

社内の5Sをもっと徹底し、いつでも監査があっても良い状態をつくります

【大國】

挑戦する気持ちを忘れない

【木村】

工場のトラブルを早く挽回します

【榎並】

お客さまからの情報や問題に、すばやく対応をします

【山口】

私は、お客さまが私たちに何を望んでおられるのかをわかるように、コミュニケーションをはかります

【岡田】

自分の仕事をがんばります

【松本】

自分自身の感性を磨きます

【高橋】

業務に関係のあること以外のものにも興味を持ち、関連する部分を見つける

【長谷川】

いつまでも少年の心を持ち続け、好奇心で挑戦し続けます

【植尾】

ほう・れん・そうの徹底

【伊達山】

書類の整備、現場の5Sを行う

【恩村】

電話対応は会社の印象を決めるものだという事を念頭に置いて、気持ちの良い電話対応を心

掛けます

【藤原】

鋭い感性と子供のような好奇心を持ち仕事をします

【勝部】

明るく、元気に、大きな声でお客さまに対応します

【中村】

現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全な作業が出来る様常にチェックし、実行します

【清水】

僕は、いつでも好奇心を高く持ち、色々な仕事に挑戦していきます

【足立】

「あたりまえ」という感覚を持たず、いつも初心を心掛けます

【長野】

毎日、新聞を読んで、世の中の流れを敏感に読みとり、業務に生かしていく

(一部社員抜粋)



安全講習

1 タイヤ点検について

山陰道斐川料金所出口付近で、自社のタンクローリーのタイヤがバーストする事故が発生した。幸にもけがはなかった。

夏場で、路面温度が高い上、高速運転でタイヤは高い熱をもつようになる。熱に耐えられなくなってバーストしたのだ。二次災害が起こらないよう、後の点検が大事である。夏場は特に、エアのチェックが大事である。空気圧が少ないと、たわみで熱をもつようになるからである。

2 メンタルヘルスについて

自殺者が12年連続で、3万人を突破した。ちなみに交通事故死は6000人弱だそうだ。

原因の一つと考えられる職場環境を改善するには、①仕事が楽しい職場に ②目標を明確に ③信頼感がある職場に、である。

キーパーソンは上司である。上司は、①仕事のストレスを除去する。 ②良好な人間関係を作る ③きめ細かい部下への対応…部下から相談があれば真剣に取り組む、である。

職場全体で取り組み、支えあっていかなければならない。
(長野)



今月の工場改善…

安全操業のために

工場内試験室のエアコンが更新された。今年の夏は猛暑が続き、屋内に居ても、熱中症になる危険性がある。今までのエアコンは、部屋の大きさのわりに、パワー不足で、冷えなかったのだ。エアコンは、7月下旬、工場の電気系統のトラブル時に緊急対応していただいた、今電様にとりつけていただいた。

工場内は、熱気でムンムンするので、試験室で快適に品質管理、データ管理や休憩をとることができるようになった。こまめに休憩を取り、暑さをのりきろう。

(長野)



中国視察旅行に参加して

中国は、北京オリンピック、上海万博と立て続けに巨大イベントを開催し、世界での地位を確固たるものにした。人、車があふれ、非常に活気づいている。急成長を続ける中国の環境事情はどうか？非常に興味をもって上海から入国した。

このたびの視察は、次の2つのリサイクル工場である。

1 同正工貿リサイクル工場

当工場は、1988年個人会社として設立、1999年会社組織となり、一般廃棄物を取り扱っている。作業員は300人、倉庫は3万平方メートルもある。中国国内で廃棄物は、一般廃棄物と危険廃棄物とに分けられ、前者は無資格で営業でき、後者はかなり厳しい資格が要る。危険廃棄物とは重金属など環境への影響が大きいもので、潤滑油もこれに入る。蘇州市で危険廃棄物業者は約80社、一般廃棄物業者は1000社もあるという。

中国国内は非常に車が増えている。オイル交換は販売店で、5000km又は半年で行っている。廃油はリサイクルされ、潤滑油として使われている。しかし、法律が整っておらず、未熟な段階で、リサイクル会社は小規模である。

場内は、休業日であったが、収集物が分別され山積みになっていた。工場は、大学や工場が集積する新生区の一部に立地し、市街地より離れているので、環境等に配慮されていると感じる。

蘇州市内には日本企業がたくさん進出している。山陰興業と取引のあるトットリレックス工業もそうだ。まずはこれらの企業とコネクションをもち、それを足がかりにグローバル化をはかりた

いという経営者の夢を感じた。

2 新区再生油工場

生活廃油（廃食油、廃水、グリストラップ）の処理を行っており、1日の処理量は100 tである。作業員は170人で、このうち回収する人員が多い。収集先はレストラン関係が多いので、ほとんど毎日、午後から夜にかけてほぼフル稼働している。処理量のうち、5%は化学製品の原料として再加工、10～15%は動物の飼料、60%は排水として処理、あとはガス化される。

蘇州は水郷の町で、有名な観光地として古くから知られている。現在、その面影は観光エリアに昔の風情を残している。市内には川がいくつも流れているが、濁っていてとてもきれいだといえる状態ではない。しかし、蘇州はここ2～3年の間、開発が進み、観光客や中国国内からも別荘地として人気があり、人が集まってくるところだ。市当局もこのような廃油処理工場をつかって、環境保全に力を入れるようになったのではないかと。当処理場も新区工業団地に立地し、近隣には他の産廃処理場もあった。水郷都市・蘇州の環境を守るため、当処理場の果たす役割はとても重要だと感じた。

また、当視察旅行を企画・運営していただいた、環境開発工業(株)同莉珍氏の働きには大変感銘を受けた。いろいろなアクシデントにも臨機応変に対応し、いつも笑顔が絶えなかった。彼女のおかげで無事に視察旅行ができたと感じる。彼女の行動力も大変勉強になった。
(長野)

同正工貿リサイクル工場にて

